大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立民族学博物館

国際研究フォーラム　国立民族学博物館機関研究
「マテリアリティの人間学」

文化遺産の返還とその再生

Repatriation and the Second Life of Heritage:

ーアラスカ州コディアク島の仮面をめぐってー

Return of the Masks in Kodiak, Alaska

2010.6.26［土］14:00-16:15

会場 国立民族学博物館講堂

定員 450名（申し込み先着順）**参加費** 無料 **使用言語** 英語／日本語（同時通訳付き）

ジェイムズ・クリフォード講演

カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校特別功労教授 James Clifford Distinguished Professor, University of California, Santa Cruz

参加申込方法

お名前、ご所属、連絡先（e-mail/Tel/Fax）、レセプション参加の有無を明記し、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

申 込 先　E-mail:clifford.min@idc.minpaku.ac.jp
TEL：06-6878-8235
（国際協力係、International Cooperation Unit）

FAX:06-6878-8479
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10ー1
http://www.minpaku.ac.jp/

みんぱく携帯サイト

主催：国立民族学博物館　国際文化会館

国際研究フォーラム　国立民族学博物館機関研究
「マテリアリティの人間学」

文化遺産の返還とその再生

Repatriation and the Second Life of Heritage:

ーアラスカ州コディアク島の仮面をめぐってー

Return of the Masks in Kodiak, Alaska

ジェイムズ・クリフォード

カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校特別功労教授

人類学の領域で自明とされてきたさまざまな概念や方法論を疑問視してきた文化批評家であり、「ポスト・モダン」の旗手として世界的に知られている。ハーバード大学にて博士号（Ph.D.）を取得（歴史学）し、1978年よりカリフォルニア大学サンタ・クルーズ校「意識の歴史プログラム(History of Consciousness)」における学際プログラムにて教鞭をとる。主著に『人類学の周縁から』(2004)、『文化の窮状：二十世紀の民族誌、文学、芸術』(2003)、『ルーツ：20世紀後期の旅と翻訳』(2002)、『文化を書く』（ジョージ・マーカス共編、1996）など。数多くの著書が外国語に翻訳され、芸術や文化研究などの幅広い分野で多大な知的影響を及ぼしている。

James Clifford

Distinguished Professor, University of California, Santa Cruz

James Clifford was born in 1945. He is a world-renowned cultural critic and "post-modern" anthropologist whose work has challenged conventional academic norms and methods, contributing to postcolonial critiques of Euro-centric epistemologies. He received his Ph.D. in history from Harvard University, and has taught since 1978 in the interdisciplinary History of Consciousness doctoral program at the University of California, Santa Cruz. He has also served as a visiting professor of anthropology at University College London and Yale University. Throughout his professional career, Dr. Clifford has published books and essays that are widely translated and frequently cited in many areas of the arts and culture. They include *Writing Culture: The Poetics and Politics of Ethnography* (Co-edited with George Marcus, University of California Press, 1986), *The Predicament of Culture: Twentieth Century Ethnography, Literature and Art* (Harvard University Press, 1988), and *Routes: Travel and Translation in the Late Twentieth Century* (Harvard University Press, 1997).

吉田憲司　国立民族学博物館教授

専門は文化人類学、博物館人類学。主に、アフリカにおける造形と儀礼の人類学的研究と、博物館・美術館における文化の表象のあり方の研究に従事している。主著に、『仮面の森―アフリカ・チェワ社会における仮面結社、憑霊、邪術』(1992)、『文化の「発見」』(1999)、など。

岸上伸啓　国立民族学博物館教授

専門は文化人類学。主にカナダとアラスカの極北地域にて、先住民による海洋資源の利用と分配、管理に関する研究に従事している。主著に『極北の民―カナダ・イヌイット』(1998)、『カナダ・イヌイットの食文化と社会変化』(2007)など。

太田好信　九州大学大学院教授

専門は文化人類学。主に中米グアテマラ共和国西部高原地帯と沖縄県八重山群島にて、表象と先住民性を中心に研究を進めている。主著に、『亡霊としての歴史』(2008)、『人類学と脱植民地化』(2003)など。

プログラム

14:00-14:10	挨拶：須藤健一（国立民族学博物館長）、講師紹介
14:10-15:10	講演: **ジェイムズ・クリフォード** （カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校特別功労教授）
15:10-15:20	休　憩（質問用紙の回収）
15:20-16:15	パネル・ディスカッション 司　　会：吉田憲司（国立民族学博物館教授） パネリスト：ジェイムズ・クリフォード 岸上伸啓（国立民族学博物館教授） 太田好信（九州大学大学院教授）
17:00-18:30	レセプション（於：みんぱくレストラン） **★定員100名★申し込み先着順★会費制**

関連企画

アイハウス・アカデミー／牛場記念フェローシップ公開講演

「複数の伝統的未来：グローバル化時代における先住民運動の新たな展開と歴史叙述をめぐる問い」

Traditional Futures: New Indigenous Politics and the Question of Global History

講　師 ジェイムズ・クリフォード
司　会 太田好信（九州大学大学院教授）

6月23日（水）19：00 ～20：30
国際文化会館　岩崎小彌太記念ホール
会　費 1,000円（学生：500円、国際文化会館会員：無料）
用　語 英語／日本語（同時通訳付き）

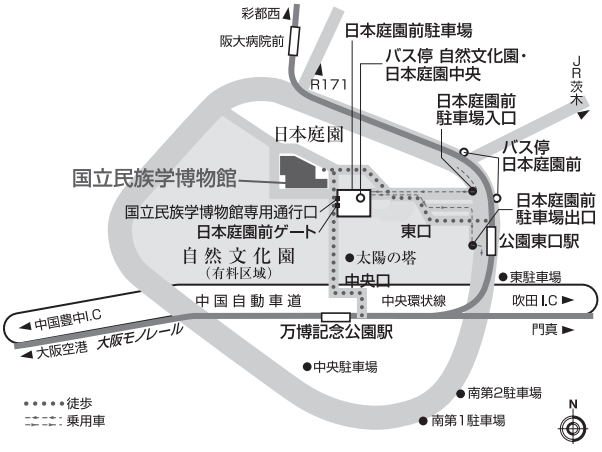
財団法人 国際文化会館 企画部
〒106−0032　東京都港区六本木5−11−16
Tel：03-3470-3211

会　　場

＊国立民族学博物館（みんぱく）は大阪・千里の万博記念公園内にあります。
「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール
「万博記念公園駅」下車徒歩約15分（展示をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。）
「公園東口駅」下車徒歩約15分（「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。）

●バス　〔**近鉄バス**〕（阪大本部前行き）阪急茨木市駅から約20分/ＪＲ茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
〔**阪急バス**〕（万博記念公園駅経由千里中央行き）
阪急茨木市駅から約20分、ＪＲ茨木駅から約10分/「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー　万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

●自動車　駐車施設が無いため「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場（有料）をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
＊「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。